



市川市立妙典中学校だより 6月号

息吹 04



学校教育目標 未来を拓く妙典中学生 ～明るく・正しく・美しく～

○ふれあいを大切にする生徒 ○進んで学ぶ生徒 ○頑張り抜く生徒 令和4年6月22日

〔表題「息吹」は、妙典中校歌、2番の歌詞「♪～世界の息吹うけとめて、生きる力を身につけん～♪」から付けました。「04」は令和4年度を表しています。生きる力を身に付け、未来を拓く妙典中生の育成を目指します。〕

新修学旅行(京都・奈良)に行ってきました

6月8日(水)～10日(金)、修学旅行を無事に実施することができました。

初日の朝、早朝の空気は夏服では寒いくらいでしたが、元気いっぱい白妙公園に集合する3年生。班ごとに点呼・検温をし、切符を受け取って大手町に向かいます。2年生で鎌倉校外学習ができなかった3年生にとって初の班単位での電車移動でしたが、スムーズに東京駅構内の所定の場所に集合することができました。この後も度々、300名近い人数が集まって指示を聞く場面がありましたが、常に一般の人を気遣いながら指定された範囲に整然と腰を下ろして静かに指示を待ち、代表生徒や先生の話が始まると顔を上げてしっかり聞き取ろうとする態度は、3日間通して大変立派でした。



乗車後は感染対策には十分注意しながらも、カードゲームやカメラの向け合いなど、許された範囲内で新幹線内の自由時間を思いっきり満喫しているうちにあっという間に京都に到着。そのまま近鉄に乗り換えて奈良駅へ。出迎えてくれたのは、人懐こい鹿さんたち。初めて間近で見る愛らしい姿に癒されながら昼食場所に到着。お替り自由のカツカレーでおなかを満ちし、東大寺の鏡池をバックにクラス写真を撮って、いよいよ最初の班別活動です。爽やかな晴天のなか約3時間、東大寺や春日大社など、奈良特有の悠久の歴史を肌で味わい、心なしかゆったりとした雰囲気に戻ってきた3年生。バスに乗り込み、一路京都の宿へ。



3年生は宿での過ごし方も終始、立派でした。一人一人がしおりを読み込み、あらかじめタイムスケジュールが頭に入っているため、食事や入浴など、先生が大声で指示する場面は一切ありません。すべてが時間通り、「生徒主体」で穏やかに進んでいきます。一方で自由時間は、この上なく楽しそうに過ごしていた姿も印象的でした。学級レクの時間は、思い思いに考えてきた企画で楽しみ、それ以外の時間は、行き来が許されている同クラス同性の部屋に集まって楽しむ人達もいれば、オープンスペースに集まって男女混合でゲームに興じるグループもいて、「修学旅行の夜」を満喫していました。班長会議をはじめとする各係会議では、代表生徒が進行し、自分たちで反省点を出し合って班に伝える内容を確認するなど、修学旅行を自分たちの手でより良いものにしようという姿に感心しました。



2日目は終日、京都市内班別活動。ここでも「鎌倉を経験していない」という心配は全く杞憂に終わりました。もちろん、どの班もなかなか計画通りにはいきません。道に迷ったり、思っていたバスに乗れなかったり、計画していた店が開いていなかったり…そんな時、生徒たちは「どうしたらいいですか」ではなく、「こういう原因でこうなったので、こういう風に修正します」と、班長を中心に計画を立て直し、その旨を確実に連絡してくれました。日中は気温が上がったため、中には班員の具合が悪くなり、休み休みの移動となった班もありましたが、連絡を受けて様子を見に行った巡回の先生は、無理のない行程に変更しながらも自然にふるまう他の班員の、身体だけでなく本人の気持ちの負担にも配慮したさりげない気遣いに、感心しきりでした。



最終日、お世話になった宿の人に丁寧にお礼を言ってバスに乗り込み、クラスごとに話し合って決めたそれぞれの見学場所へ。京都の伝統文化を体感する体験活動もクラス単位で、和気あいあいとしていい雰囲気でした。京都駅付近の昼食場所で京都での最後の時間を過ごした後は、気を抜いた行動をすることなく、落ち着いて妙典まで戻ってきた3年生の行動は最後まで立派でした。



出発前、しおりには校長からのメッセージとして修学旅行は中学校生活の最大級の行事の一つです。全力で楽しんで、一生忘れられない思い出を作してほしいと思います。そのために、『仲間の良さを見つける』『人との出会いを大切に』『行動に細心の注意を払う』の3つのことを大切にしてください。」と載せました。生徒たちは、まさにこの願い通り、しっかり安全に気を付けながら友達との時間を満喫し、様々な人や出来事、古都の歴史や文化との出会いを通して京都・奈良の魅力を十分に味わい、最高に充実した3日間を過ごしてくれたのではないかと思います。

学校運営協議会

6月16日(木)に、学校運営協議会が開催されました。学校運営協議会とは、地域の方や保護者等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、保護者や地域の声を学校運営に生かす仕組みです。本校では地域住民4名、保護者1名、地域学校協働活動推進員2名、学識経験者2名、本校職員2名の計11名が委員を務めてくださっています。



今年度第1回目の今回は、校長から学校の状況や取組を説明し、学校運営についての基本方針をお示しして協議していただき、ご承認いただきました。「現在の学校の様子が大変よく分かった」「これからも学校と地域の繋がりを大切にしていってほしい」などのご意見をいただきました。「次回は午前中に開催し、子供たちが学習している様子を直接見ていただき、本校のおいしい給食も試食していただきたい」と提案したところ、快諾していただきました。委員の皆様ありがとうございました。第2回は9月15日(木)に開催する予定です。

部活動等 表彰の記録



- ・陸上部 千葉県中学校陸上競技記録会船橋大会 2年女子 100m 第3位 第4位
1年女子 100m 第5位 1年女子走り幅跳 第7位 共通女子走り幅跳 第7位
市川・浦安支部陸上競技記録会 2年女子 100m 第1位(県大会出場)
2年男子 100m 第8位 共通女子走り幅跳 第7位 共通女子ジャバリックスロー 第8位
- ・剣道部 市川市・浦安市交流大会 男女団体 準優勝
- ・バドミントン部 市川市・浦安市春季大会 女子ダブルス 第3位 男子ダブルス 第5位
女子団体 第2位(県大会出場) 女子シングルス 第3位(県大会出場) 第5位
- ・野球部 市川市・浦安市春季大会 第3位 ・男子バレーボール部 春季市民大会 第3位
- ・ちばジュニア強化指定選手 スポーツライミング 2年男子1名 サッカー 3年男子1名
- ・市川市むし歯予防大会 学校代表・優秀 3年男子1名 3年女子1名
健歯児童生徒審査会 健歯生徒の部 優秀賞 3年女子1名



教育相談週間

新年度が始まって緊張感をもって学校生活をスタートした子供たちも、約3か月が経過し、体育祭などの大きな学校行事や今年度初めての定期試験も終わって、だいぶ心も体も疲れが出てきている頃かと思います。また、特に1・2年生は新しいクラスメイトとの生活に慣れてきたと同時に、少しずつ人間関係のストレスも現れ始める時期かもしれません。はっきりした悩みがある人、小さなことでも何となく気になることがある人、言葉にならないけど何か気持ちがもやもやする人……6月23日(木)からの教育相談では、ぜひそんな気持ちを先生方に伝えてほしいと思います。「今こんなことを頑張ってる」「これからこんなことを頑張りたい」も、もちろん大歓迎です。生徒一人一人を「ありのまま、そのままでかけがえのない存在」として大切にしていくことは、妙典中職員の共通の思いであり、「自分自身がそのままで素晴らしい存在である」ということを、生徒一人一人に実感してもらえよう、子供たちと関わっていきたくて願っています。教育相談が、そのきっかけの一つになるといいなと思います。



マスクの着脱等について

一斉メールにてご連絡しましたとおり、5月末、「新たな学校生活スタイルガイドライン」(市川市教育委員会)が改正されました。趣旨は、教育活動等の制限の緩和(グループ活動、歌唱、調理実習、マスク着用等)です。これを受け本校では、熱中症予防の観点からマスクの着脱については、原則次の通り指導していますので、ご家庭でも子供たちへの声掛け等、よろしくお願いたします。

☆マスクを必要としない場合

- ① 登下校中 → 身体的距離を確保し、会話を控える。
- ② 屋外や体育館での運動時 → 体育館では十分換気をし、近距離での会話を控える。
- ③ 屋外での休み時間 → 密集する遊びや長時間接触する遊びは避ける。
- ④ その他、十分な身体的距離が確保できる場合



☆熱中症などが発生する恐れがあるので、呼吸が激しくなる運動時、気温・湿度・暑さ指数(WBGT)が高い日の屋外の活動時には積極的にマスクを外す。

校長室より…

昨年もこの時期に紹介したのですが、校長室に掃除に来ている生徒の態度に、いつも感心しています。学年もメンバーも変わっているのですが、今年の生徒達も本当に素晴らしい。一つ一つの作業がとても丁寧で心がこもっていて、何も言わなくても時間いっぱい自分たちでやることを探して隅々まできれいにしてくれます。この人たちに限らず、妙典中の生徒を見ると、面倒くさそうに、いやいや掃除をしている人がいません。なんだか楽しそうに動いているように感じます。妙典中の子供たちの、豊かで、真っ直ぐな心に触れて、とてもうれしい気持ちになる日々です。

